

お薬の飲ませ方

「うちの子、薬飲まないんです」、ご家族様と同様、小児科医の永遠の悩みでしょうか。確かに今のお子さんは沢山の愛情と美味しいものに囲まれて育ったプチグルメです。こうしたプチグルメな子たちが一旦薬を飲まないと決めたらいかにしぶといか、小児科医である我々はよく知っています。当たり前のことですが、飲まない薬は効きません。今回は、お薬を飲まない頑固なお子さんにかに薬を飲ませるかについてお話ししたいと思います。

お子さんが薬を飲まない理由ダントツ1位は「にがい」です。ポイントとしては、いかに苦みを感じさせなくするかです。味の感覚を鈍化させる常套手段は冷たくすることです。かき氷やアイスクリームに混ぜるやり方があります。そして、子供の大好きな味1位は「あまい」です。甘い物の中で苦みと相性がよいのはチョコレートです。次に、混ぜるものとしてジュースなどの液体、砂糖などの固形物、練乳、アイスなどの半固形物、どれがいいのかという問題があります。以前報告された調査結果によると答えは、半固形（ペースト）、固形物、液体の順です。以上を踏まえ現在おすすめしているやり方は、

- ① チョコレートクリーム（パンにつけるやつ）と1回分のお薬をよく混ぜスプーンであげる。
- ② それでも感づく子には、お薬を混ぜたチョコレートクリームを冷凍庫に入れて固めてあげる。

この手段が成功率は高いようです。チョコレートアイスに混ぜるという代用手段もあります。またココアパウダーに混ぜて水を加えて練ってあげる手段もあります。液状であげるよりはペーストの方が良いようです。

この他、練乳に混ぜる、なかにはマヨネーズに混ぜると飲んで（食べて？）くれた等のお話も聞きます。栄養学上どうなの？アレルギー上どうなの？という問題もありますので、最終的には個別の対応となりますが、「冷たいもの」「半固形物（ペースト）」、そして「苦みにはチョコレート」というのが今回のキーワードです。日頃の服薬のご参考になれば。